

令和4年度第1回南外地域協議会会議録

令和4年5月26日

南外地域協議会

令和4年度第1回南外地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■議事録署名委員の指名	3
■協議	3
1) 令和4年度地域枠予算対象事業の報告について	3
1. 【継続】「第8回南外おらほの桜まつり」開催事業	市民協働型
2. 【継続】「南外さいかい市健康サロン」事業	行政主導型
3. 【継続】なんがい支所だより予算特別号編集発行事業	行政主導型
4. 【継続】南外地域花いっぱい運動	市民協働型
5. 【継続】「第15回檜岡さなぶり酒花火」事業	地域イベント型
6. 【新規】南外中学校「地域とつながる！」プロジェクト	行政主導型
2) 南外地域「彩色千輪プロジェクト」に関する報告について	7
3) その他	12
■閉会	13
■署名	13

令和4年度 第1回南外地域協議会 会議録

■日 時：令和4年5月26日（木） 18時00分

■会 場：南外コミュニティセンター

■出席委員： 8名

伊藤 君 夫、伊藤 直 人、伊藤 伝 悦、木村 ふみ子
今野 徹、佐藤 喜八郎、佐藤 正 行、高橋 恵 子

■欠席委員： 8名

伊藤 成 幸、伊藤 まゆみ、風口 宏 子、佐々木 久、
佐藤 和 香、相馬 静 華、高見 正 志、八嶋 康 晴

■出席職員： 6名

○南外支所職員

久米 啓之（支所長） 佐々木 満智子（市民サービス課長）
佐藤 和好（農林建設課長） 佐藤 マキ（公民館長）
木村 慎吾（地域活性化推進室主幹） 佐々木 心都（地域活性化推進室主事）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 議 題
 - 1) 令和4年度地域予算対象事業の報告について
 1. 【継続】「第8回南外おらほの桜まつり」開催事業 市民協働型
 2. 【継続】「南外さいかい市健康サロン」事業 行政主導型
 3. 【継続】なんがい支所だより予算特別号編集発行事業 行政主導型
 4. 【継続】南外地域花いっぱい運動 市民協働型 市民協働型
 5. 【継続】「第15回檜岡さなぶり酒花火」事業 地域イベント型
 6. 【新規】南外中学校「地域とつながる！」プロジェクト 行政主導型
 - 2) 南外地域「彩色千輪プロジェクト」に関する報告について
 - 3) その他
- 5 閉会
- 6 署名

(18時00分 開会)

○木村地域活性化推進室主幹（以下「地域活性化推進室主幹」と表記）

皆様、本日はお忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。ただいまから令和4年度第1回南外地域協議会を開会いたします。協議会開催にあたりまして、伊藤会長よりご挨拶をお願いいたします。

○伊藤直人会長（以下「会長」と表記）

皆さんお晩でございます。農作業の大変忙しい時期の開催で恐縮でありまして、出席率も多少悪いようでございますが、間もなくお見えになりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。皆様ご存知でしょうけれども、当地域から副市長さんが誕生いたしまして、我々としては非常に心強いと思ひております。我々が希望していること、懸念していること等を副市長さんがいろいろ考へて何かつながる場面もあればいいという、そういった期待もできるような気がいたします。

今日は地域枠予算の案件が6つと彩色千輪プロジェクトの案件があります。その件につきましてよろしくお願ひしたいと思ひますが、私たちもこのメンバーで3年目ということで、最終年度でございますので、1つ目標を持ってこの会に出席できたらと考へております。ですので、皆様から最後にこの会の在り方についての意見や要望等も伺えたらと考へておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。それでは本日の審議、よろしくお願ひいたします。

○地域活性化推進室副主幹

ありがとうございました。ここで4月に着任されました久米啓之支所長がご挨拶を申し上げます。

○久米支所長（以下「支所長」と表記）

皆さんお晩でございます。この度の春の定期人事異動により、南外支所長を拝命いたしました久米と申します。市役所には平成2年から、かれこれ32年ほどお世話になっておりますけれども、南外支所は初めてでございます。南外地域の印象といたしましては、住民の皆さんの活動が活発であり、課題解決のために住民の方々が頑張っているという印象を持っております。特にテレビなどで色々取り上げられております、南外さいかい市については地域の人たちが運営され、そこで生み出された活力が地域全体の雰囲気につながっているものと感じております。また先日、檜岡城を守る会の方々の勧めを受け、檜岡城址に行って参りましたが、このような山城が大仙市にあるというのを初めて知りました。大変感銘を受けたところであります。

また、6月4日に3年ぶりに開催される檜岡さなぶり酒花火については、これまで見たことがありませんでしたので大変楽しみにしております。まだまだこの地域には私の知らない資源がたくさんあると思ひますので、一日も早く南外地域のことを理解し、地域の活性化と発展のために頑張っていきたいと思ひますので、皆さんからの御指導と御協力をよ

ろしくお願いいたします。

今日の地域協議会の議題については、地域枠予算に関する事、彩色千輪プロジェクトに関する事となっております。皆さんからは忌憚のない意見を出していただき、活発な会になりますようよろしくお願いいたします。

○地域活性化推進室主幹

それでは議事に入らせていただきます。本日の出席委員数は8名で、過半数に達しておりますので、本会議は成立することをご報告いたします。

本日の議題はその他を含めまして、7件であります。また、会議録作成のため録音させていただくことをあらかじめお断り申し上げます。なお、ご発言の際は挙手の上、会長の指名を受けてからお願いいたします。

それでは、議事の進行は伊藤会長にお願いいたします。

○会長

新しい支所長さんの下での最初の会議でございます。これから色々ご指導仰ぎながら進めていければと思いますので、どうか一つよろしくお願いいたします。

それでは協議会を始めます。議題に入る前に本日の議事録署名委員を指名します。木村ふみ子委員と高橋恵子委員にお願いいたします。

それでは議事を進めてまいります。議題1)の令和4年度地域枠予算対象事業の報告について、事務局より説明をお願いいたします。

○佐々木地域活性化推進室主事（以下「地域活性化推進室主事」と表記）

【継続事業】

- 「第8回南外おらほの桜まつり」開催事業【市民協働型】
 - 事業の目的：本地域の「桜まつり」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から過去2年中止とし、未だなお自粛制限下となっている中、今年度8回目を迎え、芸能ステージ等イベントの開催は控え、ライトアップのみ実施し住民への観桜促進を目的として元気な地域づくりにつなげることにするものである。
 - 予算額：75,000円（電気料・消耗品費・手数料・使用料）

- 南外さいかい市健康サロン事業【行政主導型】
 - 事業の目的：令和2年度より始まった事業。南外ふるさと館を会場に健康サロンを行い、一人暮らしや高齢者の孤立を防ぎ、交流や健康づくりの一助とする。
 - 予算額：28,000円（報償費・消耗品費）

- **なんがい支所だより予算特別号編集発行事業【行政主導型】**
 - 事業の目的：大仙市の令和4年度当初予算のうち、南外地域に関連するものを抽出・集約した上で、写真や図表を交えて記事化したものを素材に独自の広報紙を作成して管内全世帯に配布する。地域住民の市政に対する関心を高め、理解を深めるきっかけづくりをすることを目的とする。
 - 予算額：139,590円（印刷製本費）

- **南外地域花いっぱい運動【市民協働型】**
 - 事業の目的：南外地域の環境美化のため自治会等に花苗を配付し植栽・手入れをすることで、世代間交流を深め、地域コミュニティの活性化に寄与することを目的とする。
 - 予算額：225,000円（原材料費）

- **第15回檜岡さなぶり酒花火事業【地域イベント応援型】**
 - 事業の目的：住民参加型のイベントとしての「さなぶり酒花火」を大仙市に定着させ、今後の地域振興の一助として実施する。
 - 予算額：950,000円（補助金）

○地域活性化推進室主幹

【新規事業】

- **南外中学校「地域とつながる！」プロジェクト**
 - 事業の目的：地域の大人と子どもたちが交流する活気のある風景をつくり出して情報として発信し、地域がにぎわっているイメージを地域住民同士で共有することで、住民全体の地域づくりの気運を高める。
子どもたちが地域の課題を自分事としてとらえ、地域社会での自らの役割を考えるきっかけを提供し、地域と自分の将来をリンクさせて自分の力を地域に役立てたいと考える、未来志向の人材を育成する。
 - 事業の内容：①「小さな拠点」活性化会議／南外中学校2年生を対象に、「南外ふるさと館」「南外民俗資料交流館」「南外さいかい市」の利活用に関するアイデアをまとめた提案書を作成してもらい、それを基に公開の場でプレゼンテーションを実施するもの。

- ②もっと売り込め！「南外さいかい市」ブランドスイーツ／令和3年度「地域の魅力再発見」事業として実施した「南外中ジュニア起業体験」の後継事業で、南外中学校1年生を対象に、南外さいかい市で製造可能な菓子の販売について、アイデアを出しても

らうとともに、南外さいかい市周辺で販売実践を行うもの。

■ 予算額：240,000円（報償費・印刷製本費・消耗品費）

○会長

ありがとうございました。ただいま地域枠予算の説明をしていただきましたけれども、委員の皆様何かご質問・ご意見等ありましたら伺いたいと思いますがどうでしょうか。

○伊藤伝悦委員

2ページ目の桜まつり開催事業の支出の部、ライトアップ関係費62,000円の内訳として、手数料23,000円とありますがなぜこんなに高額なのでしょう。

○地域活性化推進室主幹

この件に関しては、お調べして後ほど回答させていただきたいと思います。

○伊藤伝悦委員

分かりました。もう一つ、花いっぱい運動のことで単価75円の3000株で225,000円とあり、各自治会に配布するとも書かれていますが、自治会はいくつありますか。

○地域活性化推進室主幹

今年は41自治会です。

○会長

先程の手数料の件ですが、仮設電気を用意するために電力会社に仮設電気の申請をしなければなりません。その時に様々な書類を書かなければいけなくて、その手数料だと思われれます。

○伊藤伝悦委員

電力会社に払うのですか。

○会長

はい。普段は流れていない電気ですし、資料にも電力申請代行料22,788円とありますので、仮設電気ということで手数料がかかるのではないかと思います。

○伊藤伝悦委員

分かりました。

○会長

一部、終了した事業もあるようですが継続事業で行っているものでありますので、よろしくお願いたします。

他にご質問ありませんでしょうか。せっかくの機会で、予算特別号も配布していただいているようでありますので突然すみませんが、この中で何か皆さんに紹介しておきたいという事業はないでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

実は昨年に比べて、予算特別号の予算項目に関してのページ数が減っています。ですので、予算として目玉になるようなものは特にありません。その分、彩色千輪プロジェクトに関して1ページ使わせていただきました。こちらもそれほど予算がある事業ではないですが、新しい市の事業ということで、写真入りで紹介させていただいております。

○会長

地域交通対策事業費について、少し変わった点等なかったでしょうか。

○佐々木市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

今年度についてまだ変更はないですが、令和3年度にドアツードアになった乗合タクシーの月曜日の便が追加となり、コミュニティバスが10月から運行時刻が変更となっております。

○会長

確か今までより少し運行数が増えましたよね。

○市民サービス課長

乗合タクシーについては増えました。

○会長

他に、委員の皆様何かありませんでしょうか。

○佐藤喜八郎委員

予算特別号についてです。見開きの2ページ目に彩色千輪プロジェクト事業とあり、おそらくこれだけ予算が書かれていないと思うのですが、予算はついていないのですか。

○地域活性化推進室主幹

記事の作りこみの問題もありますが、ここで紹介しています彩色千輪プロジェクト事業に関しては全市の事業をコンパクトにまとめたものになっています。予算があるところとないところがあると思いますが、そちらについては今回割愛させていただきました。南外

に関する部分だけを抜き出したものが、3ページ目になります。先程の地域枠予算事業の中で説明させていただいた、南外中学校「地域とつながる！」プロジェクトが南外地域の彩色千輪プロジェクト事業の一環の位置付けとして考えています。

○佐藤喜八郎委員

そうしますと、彩色千輪プロジェクトは地域枠予算を使うということですか。

○地域活性化推進室主幹

各支所でそれぞれ違い、彩色千輪プロジェクト事業の中にあらかじめ予算を付けている地域もあります。南外に関しては、地域枠予算の方が弾力的に使えることができ、事業の途中でも、地域協議会の中でご説明することによってさらに新たな予算を付けることができるのではないかと考えて、今回に関しては地域枠予算の中で予算を付けました。

○佐藤喜八郎委員

地域枠予算というのは、限られた枠があると思いますので、そちらに予算を使ってしまうのはもったいないなという感じがします。必要であれば、地域枠予算外で予算を付けたほうがどちらかというといいのではないかと思うのですが、どうでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

今年度に関しては地域枠予算を使わせていただきたいと思っておりますが、来年度以降に関しては、今いただいたような委員の意見も参考にしながら予算の置き方についても検討していきたいと思えます。

○会長

他地域のやり方もあるようで、そのあたりを参考にしながら、佐藤委員さんの意見も踏まえて上手く検討していただけるようです。

他にご質問等ないでしょうか。

【意見・質問なし】

ないようですので、続きまして議題2)の南外地域「彩色千輪プロジェクト」に関する報告について事務局より説明をお願いいたします。

○地域活性化推進室主幹

1. 地域活性化推進室兼任職員の配置

令和4年度から支所長が地域活性化推進室の兼任職員を指定できるようになった。南外支所では、5月1日付で市民サービス課・農林建設課・南外公民館の副主幹及び主査級の職員3名を兼任職員とし、体制を整えた。

2. アンケート調査の実施状況について

南外地域「彩色千輪プロジェクト」に地域住民の意見を反映させることを目的に、現在2つのアンケート（「施設利用者アンケート」と「なんがい子育てアンケート」）を実施している。調査期間はいずれも5月末までで、調査結果は次回の地域協議会で報告する。

3. 「小さな拠点」活性化会議の実施について

「彩色千輪プロジェクト」の一環として実施する『「地域とつながる！」プロジェクト』の「小さな拠点」活性化会議が5月23日にスタートした。

○会長

この事業は地域活性化推進室の一番の主たる事業でありまして、職員の方も委員の皆様が希望していたように増やしていただけたようで、取り組みが充実したものになるのではないかと思います。何か委員の皆さん、お気づきの点等ないでしょうか。

○伊藤君夫委員

彩色千輪プロジェクトがスタートしていると伺っておりますけれども、何をするかというのが一番模索しているところかと思えます。ですが、目標というのが見えません。以前の会議で、こういうのをやったらいいのではないか、ああいうのをやったらいいのではないかという話があり、この彩色千輪プロジェクトはイベントを中心にしたものを南外地域のふるさと館とさいかい市、民俗資料交流館の3施設が並ぶエリアを拠点として行っていきたいという案を伺いました。事務局をどこに置くか、入り口の設定については、その場では明確には答えられなかったと思えますけれども、現在スタッフは整ったという説明がありました。では何をやりましょうかという時に、アンケートを参考にして進めていくことと思えますが、私が疑問に思っているのは、このプロジェクトというのが住みやすい大仙市の中の南外地域でお年寄りも安心して暮らせる環境を整えていこうというだけのこととプロジェクトを組み、何をするか考えていくということなのではないでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

彩色千輪プロジェクトは通称名になっていまして、拠点利活用事業というのが本来の名称になっております。ですので、南外にある公共施設を上手く有効活用して、人を集めてイベントを実施する、というのが彩色千輪プロジェクトの目的の一つだとは思えます。南外に関しては、ふるさと館・さいかい市・民俗資料交流館のエリアが拠点になるわけですが、南外に住んでいる住民はもちろん、地域外から来るお客さんも含めて人の流れをそこに作る、というのが南外地域の彩色千輪プロジェクトの目的だと考えています。そのための仕掛けづくりというところで、現在アンケート調査を実施しております。普段施設を利

用される方の意見とこれから利用していただきたい若い住民の意見、令和2年度に実施しました地域協議会のワークショップで出た意見をまとめたもの、そして地域振興計画の中でまだできていない部分もありますので、地域振興計画に登載されているもので拠点を上手く利活用してできないものはないかなど、そのような様々な意見をもとにして人流をつくる、という取り組みをしたいと考えております。

○伊藤君夫委員

それは一過程で終了という考えではないですよ。ですので、継続して南外地域の活性化を目指すというのはすごく壮大な考えですが、目標というのは先程述べられたことですよ。

○地域活性化推進室主幹

一過性の大きいイベントを実施して終わりというのではなくて、継続的に人が集まるような仕組みを作りたいという事業です。

○会長

最初からゴールがはっきりしているわけではなくて、地域の活性化を生み出すために、維持するために一つの核となる地域を設定して、委員の皆さんからの様々な意見をいただきながら、どういった方向に向かっていけばいいのか模索していくのであって、まだゴールや結論は無くこれから積み上げていくべきものだと思います。これで物事が解決するというわけではないと思いますので、委員の皆様から拠点を核として活性化に向けた事業や活動など考えられるのであれば、まとめていければと思います。

○伊藤君夫委員

プロジェクトそのものが完全な活動を始めるのを、長い目で見て10年もかかってしまうのであればやらない方がいいし、ここ1年でやってみよう決めてスタートするのか、市で言われている何年計画でじわりじわりと実施して、市長の任期で事業終了するのか、そのあたりが見えてこないです。ですので、どこを目指してプロジェクトを実施していくのか疑問です。

我々や会長もですが、以前村おこしの話が出て、こういうことを実施したら活性化するのではないかと考えたり、子供も巻き込めば人も集まるし、その他にも企画を作ったり色々なことをしてきた経緯があります。ですが結局、その時に企画して立ち上がった我々が楽しただけで終わってしまいました。その子供たちもふるさとをなつかしくも良くも思っているでしょうけれども、村おこしだけでなく、結局継続させることができませんでした。みんな衰退して行って、議員もいなくなり、人もいなくなるという状況で、過疎化も進んでいきました。村おこしをしようとして取り組みましたが、我々が楽しただけで終わったような気がします。そうすれば、南外を何とかして住みやすい部分で継続させようというギリギリの抵抗といえば変な話ですが、そのあたりを何とか頑張っていこうかという程度

でやるしかないのではないかと思います。少し寂しい話ですけども、私そのもの先がないから、色々な意見を述べたとしてもどうなのかなという気がします。

アンケートを取られたときに私は「終活」と書きました。それは何かというと、南外は老人夫婦が二人とか一人生活などという家が圧倒的に増えているわけですよね。その中で我々の最後のあがきとして、例えば、さいかい市を一つの拠点として県でも全国でもいいので、「私にはこのような良い刀がありますが買う人いませんか」と呼びかけるなど、このような取り組みで終活をがっとう盛り上げていけるようなものを考えていました。山も売りますし、田んぼ付きの家も売りますし、古民家として買っていただいてもいいですよと言えば、1万円でもいいという人も出てくるかもしれません。そのような取り組みで南外地域そのものに人を呼んで、山に興味がある人には「私の山はこのようななっていますが50万円で買いませんか」などと言って山の中まで見てもらうなど盛り上げていけばどうなのかと思っています。というのは、南外で映画鑑賞をしたいと思っても、設備を整えるのが大変ですよね。設備を上手く利用して、確保するのは経費がかかって大変だと思いますし、古いものを現代に蘇らせてみんなにアピールするというのはすごく難しいと思います。ではあるものの中で、ものすごく良い掛け軸を持っている人がいて、これをだれか欲しい人に売るといのは人を呼べる一つの手法にはなると思います。お年寄りの一人暮らしの人がいて、最後の花でこういうものを皆さんに紹介したいとか、見せたい人がいるのではないかと思います。お年寄りの一つの最後のあがきを彩色千輪プロジェクトの中で謳えるようなものではないと思いますが、考えて推し進めてみようかという気持ちを持っていました。

○会長

伊藤委員さんの遠大なすばらしい構想もあるようですけれども、これを彩色千輪プロジェクトにリンクできるような体制が整えられれば良いのですが、それも検討しながら皆さんで彩色千輪プロジェクトをまとめ上げるような一つの成果が得られるように進めていけたらと思います。

では、伊藤伝悦委員もお願いします。

○伊藤伝悦委員

3ページ目の5月23日にふるさと館で開催された会議ですが、ここに載っている写真なども良いなと思ひまして、この内容について少し詳しく知りたいです。

○地域活性化推進室主幹

「小さな拠点」活性化会議に関しては、意見等を集めている途中の段階ですが、その過程も合わせて全部事業にしてしまおうという発想です。昨年、南外ジュニア起業体験事業学習を実施しまして、中学生が考えた商品プランと作成した商品を実際に拠点のあるエリアで販売し、最後は決算報告書を作成してそれをプレゼンするという一つの流れで事業を実施しました。その中で、中学生が自分たちで考えて話し合っ商品を作って、みんなの

前で発表するという部分だけを上手く活かして、それを彩色千輪プロジェクトに合わせるように調整したのが今回の事業になります。この事業に実際に取り組んでみたところ、中学生たちは非常に素直で、「民俗資料館は行ったことない」だとか、「さいかい市はどちらかという高齢者のイメージ」だとか、なかなか言われると辛いような部分の意見もどんどん出てきまして、もちろんそのような意見も大切にしながら、今後進めていきたいと思っています。長くここに住んでいる私たちにとっては、ふるさと館は温泉ですし、民俗資料交流館は資料を集めている施設ですし、さいかい市は最近できた建物ですが、皆さんが持っているイメージとしては小さなスーパーマーケットだと思います。ですが、実際現場に足を運んでもらって建物を見てもらうと、例えばふるさと館は単純に温泉があるだけではなくて、様々な居室があって、研修できるような部屋もあり食堂もあるという色々な部分が見えるので、大人の私たちの先入観を取っ払って子どもたちの目線で、柔軟なアイデアを出してもらおう企画になればいいと思っています。

今回実施したのは第1回目なのですが、第2回目では施設見学で取材した結果を基にして、これらの施設はこういう使い方ができるのではないかだとか、ここを利用してこういうイベントができるのではないかだとか、単純にふるさと館だけではなくて、ふるさと館とさいかい市を組み合わせるとか、もしくは3ヶ所全て組み合わせるとか、そのような観点で中学生から自由にアイデアを出してもらいたいと思っています。それをグループごとに活性化プランということで、提案書を作ってください作業が第2回目に予定している内容になります。

第3回目ではプレゼンテーションということで、ジュニア起業体験事業の時は伊藤会長からも出席していただき、中学生たちの販売実践の流れや、実際にどれくらい収益を得たかなどの発表を聞いてもらいました。同じようなイメージで地域の方をお迎えして、コロナの影響も多少あるかもしれませんが、出来る限り多くの人から中学生が頑張っている姿を見てもらいたいと思っています。中学生の自由な発想を大事にして、それを彩色千輪プロジェクトに活かしていくという事業を目標にしているところです。

○伊藤伝悦委員

ありがとうございました。我々協議会委員も、中学生たちの柔軟な意見はすごく参考になると思います。昨年、実際にイベントの時に行ってみたのですが、マスクを販売していたりお菓子を販売していたり、結構皆さんいきいきとしていたのが好印象でした。こういうところから、一歩踏み出していけたらと思っていますので引き続き頑張りましょう。

ちなみに、第2回目はいつ頃を予定していますか。

○地域活性化推進室主幹

第2回目は学校の総合学習の授業の一環で行いますが、6月の中旬を予定しています。

○会長

この事業を私も拝見させていただきましたけれども、子どもさんたちはお仕着せの事業

という様子ではなくて、張り切って楽しんで和気あいあいと仲良く取り組んでいました。我々の時代と違って、子どもさん方も二十歳ぐらいになると社長をやっている人も結構いたりして、そういう部分で成長している子どもさんもいるので、とても時宜を得た事業だという気がしております。ぜひこれは推し進めてほしいなと強く感じているところです。

何か皆さんご意見ないでしょうか。

○佐藤喜八郎委員

彩色千輪プロジェクトですが、今まで聞いた大きな目標としては、南外の地域活性化が一番大きな目的と捉えています。その次の目的が、新たなにぎわいづくり、これが次のテーマだと今までの説明で感じています。今出てきたのがこの活性化会議ですが、これは目的などは何もなく、参考意見を収集するための中学生の活動だと思うんです。新たな新鮮な意見を聞くのは大切です。社会体験もしてもらおう、これも学習の意味では大事です。これをやったから終わりではなくて、これを基にして早く方向性を支所の方でまとめて、それに向かって進めてもらいたいと思います。私たちが昨年からの協議会で決定した、「自立してコンパクトな南外」、「子どもからお年寄りまで元気な南外」、「自然豊かで人が集える南外」、これも一つの参考材料です。自立して云々というのは、もっと住民が積極的に自ら動いて、そしてまとめようとする力だと、私がかみ砕いて思うにはそういうことだと感じています。もちろん市役所の方もそうあってほしいなと思います。子どもからお年寄りまでというのは、なかなか難しく、あえて言えば健康とコミュニティだとかみ砕いて言えるのかと思います。3つ目の自然豊かで人が集える南外は、自然を活用するということかと思います。この3つを私はこのように細かく解釈してみました。これももちろん一つの参考意見だと思います。早くこのあたりをまとめて、最初に何の事業をするのか、事前準備で終わるわけではないので、そこにあまり時間を取られないで、進めていただくと大変ありがたいなと思っています。

○支所長

この彩色千輪プロジェクトに関しては、委員の皆さんもご承知の通り、8地域ごとに地域活性化の活動の拠点を指定して取り組んでいるところです。今年度、各地域とも9月頃までにその計画をまとめる予定としております。その事業計画を基に令和5年度に向けて本格的にスタートする予定となっております。ですので、子育て世代アンケートや中学生の皆さんの考え、先程委員の方から意見をいただきました終活などそのような色々なものを取り込んで、計画を作って実際の行動に結びつけていきたいと考えているところです、よろしくお願ひしたいと思います。

○会長

他になればその他に入りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

ではその他で、日頃皆さんが地域の問題や行政の在り方でもいいですし考えていることがありましたらご発言をお願いします。また、この協議会の在り方や進め方についてもこ

ういう風にしてもらいたいという希望等ありましたら、出していただければと思います。以前より出席率が悪くなりつつあるような気がしますので、一つ皆さんからこういった会議にしていいただければ、出席して大いに盛り上げていきたいという意見があるかもしれませんので、何かご意見やご提案等出していただければありがたいですが何かないでしょうか。

先程、伊藤君夫委員さんから終活の話もありましたけれども、やはり地域としては重大な課題だと思いますので、若い人もいらっしやいますし非常にお年寄りが多い状況もありますので、何か委員の皆さんご意見・ご質問等ありませんでしょうか。

【意見聴取】

次回の会合は7月下旬を予定しておりますが、詳しいことに関しては後日事務局を通してお知らせいたします。

それでは、これもちまして令和4年度第1回地南外地域議会を閉会いたします。皆様お疲れ様でした。

(19時30分 閉会)

南外地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

木村 ふみ子

高橋 恵子
